

U16(中学生)陸上競技選手権大会 競技注意事項

- 1 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。第162条の5については適応しない。不正出発をした選手は、そのレースは失格となる。
- 2 1500m以上のトラック競技はすべてタイム決勝とする。なお、トラック競技において同タイムの場合は千分の一までを確認し、それでも同じ場合は同順位とする。
- 3 本競技場は全天候型のため、競技に使用するスパイクピンは全天候型のもの9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。)
- 4 ハードルの高さおよびインターバル、砲丸の重さは次のとおりとする。
男子110mH 高さ0.914m インターバル9.14m
女子100mH 高さ0.762m インターバル8.00m
男子砲丸投(5.000kg)
女子砲丸投(2.721kg)
- 5 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。(審判長の判断で変更可能とする)
共通男子走高跳 1m50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ(練習は1m50と1m60)
共通女子走高跳 1m30-35-40-45-48…以後3cmずつ(練習は1m30と40)
共通男子棒高跳 男女同時に行うため、始まりの高さは当日決定する。
奨励女子棒高跳 (10cmずつ上げることとする)
- 6 ①走幅跳・三段跳・砲丸投の試技は3回までとし、上位8名はさらに3回の試技を行う。
②三段跳の踏切板を男子9m、女子8mとする。
- 7 競技者は、学校名及びクラブチームのアスリートビブス(ナンバーカード)を胸背部に正しく付けること。(走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)アスリートビブスのない競技者は出場できない。
トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取りパンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はフィニッシュ地点で役員に返却すること。
共通男子3000m(胸背部)、男女1500mでは(胸部)別のアスリートビブスを使用する。競技終了後はフィニッシュ地点で役員に返却すること。
- 9 競技のレーン順・試技順はプログラムに記載されている順とする。
- 9 招集について
①招集は、すべて第4コーナーゲート付近で行う。
②招集開始時刻・完了時刻は、プログラムに記載されている通りとする。
③代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙(同時二種目出場届)に記入し競技者係に提出すること。なお、用紙は招集所に用意する。
④招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には点呼を受ける競技者以外入らないこと。
⑤競技を欠場する場合、欠場届(陸協指定の用紙)を競技者係に提出すること。用紙は「招集所・競技者係」に用意する。
- 10 トラック競技のフィニッシュ後は、指示されたゲートより退場すること。
- 11 補助競技場には学校からの練習用具の持ち込みはできない。また、ハードルは会場に設置してあるものを共用すること。
- 12 記録の発表は掲示板・広島陸上競技協会 Twitterにて掲示・発表する。
- 13 表彰は、学年種目・共通種目の8位までの入賞者に表彰状を、1位～3位にメダルを授与するので、順位が確定したらすみやかに正面ロビーに集合すること。
奨励種目においては、1位～8位に表彰状を授与する。

U16(中学生)陸上競技選手権大会 連絡事項

1 団体受付及び役員受付

- (1) 受付は、原則7:30~8:00とし引率者は必ず団体受付をしてプログラムを受け取ること。同時に競技役員の受付をすませること。学校受付及び役員受付は、メインスタジアム入口正面ロビーで行う。なお、受付は、8:00以降も随時行うが、12:00までとする。
- (2) 感染対策は、広島陸協HPに掲載される競技連絡事項を確認し感染防止等に努めること。
- (3) 役員及び引率者の打ち合わせ会を8:30より正面ロビーとラグビー場の間で行うため役員及び引率者は時間厳守で集合すること。
- (4) 開会式・閉会式は行わない。

2 競技役員について

- (1) 競技役員について、別紙競技役員一覧表により運営するが欠席等により役員が不足するようことがあれば引率者に競技役員をお願いすることもあるため、服装等については必ず用意しておくこと。
- (2) 競技役員は必ず役員受付を済ませること。なお競技役員の服装に関しては、男性は白の半袖カッターシャツかポロシャツにグレーのズボン、女性は白のブラウスカポロシャツにグレーか紺の服装を着用しジャージは必ず避けること。
- (3) 競技役員は、任務に徹し選手に対する助言・助力を行わないようにして公正中立な立場で審判業務にあたること。

3 来場者について

- (1) 大会期間中、正面スタンド及びサイドスタンドへ入れるのは大会役員・審判・出場選手・生徒役員とする。同行者及び保護者は選手1人につき1名のみとし、バック側スタンドで観戦すること。正面スタンド及びサイドスタンドでの観戦は禁止とする。声を出しての応援はなしとし、拍手のみとする。受付は9:00から正面ロビー入り口で行い、リストバンドを受け取りバック側スタンドへ入ること。
受付は両日とも14:00までとする。
- (2) 卒業アルバムなどの写真撮影業者等は立ち入りを禁止とする。

4 場所取りについて

- (1) 選手等の控え場所として、場所を取ることができるのは次の場所である。ただし、スタンドも日陰の場所やスタンド裏も場所がせまいので、できるだけ各団体とも必要最小限のスペースで場所を取ること。(使用した周辺をきれいに維持すること。)
- (2) 場所取りをして良い場所
 - ①正面スタンド(スタンドからの応援(声援)などはできない。拍手のみとする。)
 - ②正面スタンド裏側の通路以外のスペース
 - ③競技場内の第1曲走路、第2曲走路の芝生席内(テント設営可)
 - ④メインスタジアム・補助競技場周辺
- (3) 場所取りができない場所
 - ①バック側スタンド及びバック側スタンド裏側通路
 - ②雨天練習場のコース沿い(雨天練習場は流しなどの練習に開放しますので、全天候舗装の部分は待機場所にしないようすること。)

5 駐車場について

- (1) 広島県総合グランド内の駐車場、もしくは競技場南側の「遊水池西側」と三菱重工方面への道路を挟んで「遊水池東側」を臨時駐車場として利用ができる。節度ある駐車の方法で多くの方が駐車できるようにすること。(他団体の利用も有る)
- (2) バスやマイクロバスで送迎される参加団体は、当日の競技場横に待機場所を確保していますので接触事故等に十分気を付けて止めること。
- (3) 大会当日、競技場内における選手保護者の送迎についても事前に混雑が予想されることをお伝えいただき、場合によっては競技場周辺での乗り降りなどもご協力ください。

6 練習会場の使用について

(1) 練習会場は、補助競技場を使用すること。なお、24日(土)の8:45までと25日(日)の8:30まではメインスタジアム内での練習も可能。ただし、練習開始は7:30からとする。(準備も平行で行っております。ケガには十分注意すること。)

※競技会場・各ピットの準備も同時に行っていますので、安全には十分に気をつけること。

<メインスタジアム、ホームストレート朝の競技開始前の練習区分>

- 1~2レーン → 中長距離優先レーン
- 3~6レーン → 短距離・リレー優先レーン
- 7~8レーン → ハードル優先レーン (110mH8レーン, 100mH7レーン)

<第3コーナーから第4コーナー曲走路内の練習区分>

- 投てき種目のメディシンボール投げ及び砲丸ピットでの練習ができる。両日とも8:00~8:30(30分間)とする。

<棒高跳ピット練習区分>

- 棒高跳は準備が整い次第ピットでの練習ができる。

<補助競技場の練習区分> ※投てき練習はできない。

- 補助競技場は土のトラックなので、レーンも線がないため選手は接触や衝突などの事故やけがに十分に注意してできる限り内側は中長距離の周回優先とし、少し外側を短距離的な高速で周回等を行う場合には使うようにする。(逆走をしないこと)
- ゴムの全天候舗装がしてある直線には、男女のハードルとスターティングブロックを時間帯によって設置する。
- トラック内の芝生部分は動きづくりなどでの使用を認める。
(メディシンボールやゴム製の練習用砲丸も含め、投てき練習は補助競技場内ではできない。)
- 補助競技場では、練習用具持ち込みでの練習については禁止とする。

(2) バック側スタンド裏の雨天練習場は、第3コーナー側から第2コーナー側に向けての流しのみとする。

- ※レーンにカラーコーンやハードルなどの器具を置かないようにする。
- ※動きづくりなどを行うためにレーンの途中に留まる、逆走などはしないこと。

7 競技会場の使用について

(1) 競技者は、それぞれ当日に招集所で指示を受けた経路に沿ってスタート地点や競技ピットに向かい、競技終了後も指示された経路・ゲートより退場すること。正面スタンド前は通らないこと。

(2) 競技者は、招集所でアルコール消毒を受け待機している時なども、できるだけマスクを着用し大声で話したりしないこと。

(3) 短距離種目については、選手同士の接触事故防止のためゴール後はコースに沿ってカーブするよう事前に指導をすること。

(4) 今大会は、拍手のみの応援とする。

(5) 本競技場は、全天候型なので競技に使用するスパイクは全天候型のものとし、9mm以下を使用すること。(ただし走高跳は、12mm以下とする)

8 今大会における新型コロナウイルス感染防止対策と熱中症予防について(お願い)

(1) 競技者・大会役員・審判は、競技場内に入る際にそれぞれ招集所や役員受付等の出入口においてアルコール消毒を行い入場すること。また、各競技ピットにおいても必要に応じて選手に対しアルコール消毒を求める場合がある。

(2) 競技者をはじめ引率者・大会役員・審判など今大会への来場者は、競技中や急に体調が悪くなった場合以外は基本的にはマスクを着用し飛沫の飛散に注意すること。

(3) できる限りフィジカルディスタンスを意識して行動し、昼食等をとる際にはしっかりと手洗いを行うこと。

(4) 今大会に参加する団体においては、事前に参加生徒に対して熱中症予防のために十分な水分補給の準備を促すと同時に大会当日も、水分補給も含めできる限り熱中症の予防に努めること。

(5) 大会当日、引率者は競技者に対して必ず健康状態の確認を行い、発熱や体調が悪い場合など無理をして競技をさせないこと。

(6) 大会前後の体調管理・感染症対策に努めること。

9 その他

(1) 生徒によるスマートフォン等を利用した撮影はできない。

※表彰式の撮影をする場合にのみ同行者及び保護者は正面ロビーより入場し、撮影をすることができる。(撮影後は速やかに退場すること。)

(2) 横断幕の設置はできない。

(3) 大会当日、広島陸協よりトレーナーを派遣していただいているがその利用は競技者のみとする。

(4) 大会当日、招集所での日傘の使用は禁止する。